

なんでも相談会 & インボイス制度個別相談会

要予約 TEL 03-3986-2471

11月のなんでも相談会は、27日(月)13時30分～15時30分まで1日4組。法律相談、税務経営相談です。顧問税理士、弁護士が相談に応じます。

インボイス制度個別相談会は7日(火)、15日(水)、27日(月)10時～16時(45分毎)となります。



(購読料は組合費の中に含まれています。)
定価三十円

発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋5-22-15
電話 豊島 (3986) 2471
北 (5390) 6021
板橋 (3963) 5325
練馬 (3825) 5522
発行人 寺島 耕平
発行予定日 毎月4回
1日、9日、17日、25日



9月24日、埼玉県和光市スポーツアイランド内の多目的グラウンドで、7年ぶりとなる分会対抗ソフトボール大会を開催しました。

45名の組合とその家族は、9時にはグラウンドに集合し、栗山組織部長の挨拶のあと、4チームに分かれ3試合



個人MVPの木村龍生さん(右)と栗山組織部長



敢闘賞を獲得した横山さん家族

の総当たり戦を戦いました。

さくらチーム、椎名町チーム、上池袋本町+南池袋チーム、そしてかなめ+池袋+書記チームの4チーム。さくら、椎名町、南池袋分会はそろいのTシャツを着て試合に臨み、意気込みの違いを見せました。試合の結果は、さくら分会チーム、椎名町分会チームが同じ勝率で並びましたが、得失点差で椎名町分会チームが優勝しました。

個人賞MVPは、椎名町分会チームでピッチャーを務め優勝に貢献した木村勝俊さんのご息龍生さん、敢闘賞は同じくさくら分会チームのピッチャーとして活躍した横山利江さんのご息女風夏さんと彩夏さん、そして上池袋本町分会の岡崎勇二さんが選ばれました。

ソフトボール大会終了後、16時から池袋の居酒屋で中間決起集会を開



決起集会からの参加者も多数

きました。ソフトボールから続けて参加した仲間の他に、中間決起集会から参加の仲間も併せて総勢70人が集まりました。

昼間の試合の結果や、個人賞の発表で盛り上がった後は、分会ごとに拡大後半戦に向けた決意表明がありました。初めてこうした会に参加した若い仲間も多く見られました。組合員同士の結びつきを強め、新しい仲間を掘り起こす取り組みを目的とした今回のイベントは、大きな成果を挙げました。

つぶやき

今は女性の会会長として頑張ってます

主人が建設の仕事に就いたのは、今から40年程前です。その数年後に同じブロックの他支部で組合員になりました。当時、主人が群会議への参加が大変だったのかわかりませんが、今お世話になっております豊島支部へ転入しました。

その時から、群会議へ行くのは私の役目となり、今年30歳になる四女をおぶって、近所の組合員さんのお宅で参加していました。

女性の会へは、いつの間にか加入していました。今から10年程前に、女性の会の分会長さんが仕事の都合で継続が難しくなり、少しの間だけでも手伝ってほしいと頼まれました。軽い気持ちで受け、その後、今日まで要請行動、会議、学習会などで様々な事を学ばせて頂き、初めて知った事も沢山あり、学び多き10年間でした。

初めの年の秋の拡大の時に、組合員にとのお話があり組合員になりました。何も知らない私に、拡大の対象者の一人だったと知ったのはしばらく経ってからの事でした。

山本明美通信員(上池袋本町分会)

準備は万全だったが…

防災フェス 木工製作学習会

10月5日防災フェスの木工製作学習会を豊島支部にて行いました。

今回の木工製作品は防災用折り畳みイスで災害時には専用ビニール袋と一緒に使用すれば簡易トイレとして使用できます。

今回、自分は木工製作の講師として要請があり引き受けました。

木工製作学習会では広瀬さんの指示のもと折り畳みイスの製作を行いました。最初は簡単に作れるだろうと思ってましたがいざ初めて見ると難しく本番当日に必要な個数を作る自信がなかったので学習会で製作したのを持ち帰り、自分なりに研究して効率的に製作出来るように考えました。

しかし残念ながら雨天の為イベントが中止になってしまったのでまた別の機会に頑張ろうと思います。

前田博久通信員(上池袋本町分会)



平和とくらしを守る豊島区大運動実行委員会

森永卓郎氏講演会
ザイム真理教
国民はますます貧しくなり、経済も停滞し続ける...
その元凶こそ財務省を中心とした「ザイム真理教」の存在が
ザイム真理教はいかにして国民生活を破壊してきたのか?
2023年 12/5(火) IKE-Biz 6階
入場無料
開演 18:30 (開場 18:00) 問合せ: 豊島区大運動実行委員会
定時総会 20:00~20:30 豊島区大運動実行委員会
03-3908-1091(豊島区役所)

大手企業
交渉

決起集会での 若い仲間の報告に拍手

第78回大手企業交渉に、豊島支部は10月19日に参加し、(株)鴻池組との交渉に参加、宮本執行委員長、原田常任、担当書記の3名が参加しました。

午前中は、日本教育会館で決起集会を開催しました。決起集会で印象に残ったのは、組合員の生の声である現場報告で、今回は神奈川県連と都連・東京土建板橋支部の、それぞれ若い仲間からの報告でした。

神奈川県連の今村さんは、タイル職人で、元請けとの法定福利費の扱いについてのリアルなやりとりと、



交渉の場で質問する原田常任

自身の信念について語り、板橋支部のにとびさんは、お父さんと一緒に従事するハウスメーカーからの10%の単価の引き下げに抗議し、ガソリン代の高騰に対して2万円の別途支給を元請けから勝ち取った経緯を報告しました。

共に、根拠のある計算をもとにした要求であると先方には主張し、元請けや同業者からの圧力にもくじけませんでした。若手がいない業界、この業界を盛り上げるのは大手元請け会社だけでなく、働く側も対等に責任を負うべき、正々堂々と言うのが正しい、とした若い仲間の報告に心から拍手を送りました。

午後は、(株)鴻池組との交渉に日



本橋人形町の区民館会議室へ向かいました。組合側の長期ビジョンに立っての懸案事項を、事業者側も共有し対応していると冒頭で建築課長が発言したとおり、22年度の賃金の上昇に反して23年度の上昇がほぼ0であったことを除けば、外国人技能労働者の積極的な技能的採用、原材料のスライド条項への公共工事もとより、民間への対応の強化、法定福利費の支払いに関し、2次請以下に対しても1次請に倣うよう指導強化するなど、事業者側の努力を評価するに値するものでした。しかし、賃金上昇を妨げている重層下請の改善については、価格競争のための調整弁である重層下請構造を否定するまでは

いかず、人手不足の現状もあり、会社を挙げて解消に向けて努力しているとの報告にとどまりました。また、パートナーシップ協約についても、恒常的な団体要請行動の機会に真摯な話し合いを重ねており、培った関係性から、改めて同協定を交わす必要はないとの見解でした。

参加した原田常任から、以前に従事した同社現場でのフルハーネス安全帯の使用基準についての確認と、また、別の現場に従事した際、元請けであった2次請会社から、急な賃金の値下げ交渉があった報告がされました。鴻池組としても看過できない事案なので、早急な事実確認のうえ対処するとの回答でした。

豊寿クラブバスレク 長瀨のライン下りと しいたけ狩りで大満足



当日10月4日は朝から雨模様でした。最初に立ち寄ったのは道の駅花園でした。農産物直売所には採りたての野菜がたくさん並んでいるので、あれもこれもと皆さん買い漁っていました。特にきゅうりは4本100円と言う東京では買えない値段でびっくり、3束も買いました。

ようやく雨も上がった頃、国の特別天然物に指定された秩父長瀨のライン下りに向かいました。雨が降ったのが功を奏したか、水かさもちょうど良く、時に岩肌に「ゴツン」と当たりながらも船頭さんの楽しいガイドも聞きながら、ゆったりと、ときには1メートルも段差があり、水しぶきを受けながら下りました。途中岩畳が最近崩れた箇所がありましたが、これらの岩は、結晶片岩なのでかなり柔らかいからだ

そうです。そしてこのライン下りは、秩父山中の原木を江戸まで運んだ「いかだ流し」がルーツだそうです。

そして楽しみにしていた昼食は楓庵というそば処。揚げたての天麩羅は最高に美味しく地酒を飲みながら大変満足でした。

食事の後は小松沢レジャー農園で「しいたけ狩り」をしました。原木にたくさん生えた椎茸を収穫するのは初めての経験でワクワクしました。そこで教えてもらったチーズをのせたり味噌マヨネーズをのせて焼くレシピを帰ってから早速試してみたら、採りたてで何とも言えない美味しさでした。

楽しい1日を過ごせました。次回もまた楽しみにしています。

(岡崎勇二通信員 上池袋本町分会)

「福島」を繰り返さないために

女性の会 城北ブロック学習会

10月17日、女性の会城北ブロック学習会、中間決起集会は各支部ごとに集まりWEBでの参加で行なわれました。

学習会はふくしま復興共同センターの渡辺喜弘事務局次長に福島から配信していただき、「原発事故から12年ふくしまは今」と題し講演していただきました。

福島第一原発事故の特徴、避難の状況、なぜ福島に14基もの原発が建設されたのか、米国と日本の政治的歴史そして、原発事故は何をもたらしたのか、問題点をわかりやすく説明されました。

はじめてしまったALPS処理水の問題、考え方についても未知のものがあり、すすめ方についても漁業関係者が反対しているなかで、民主主義の問題だと指摘されました。2017年5月に国



広瀬千鶴通信員(写真中央)

家プロジェクトとして「イノベーションコースト構想」を発表し、ロボット研究や宇宙産業を呼びこむとの構想ですが、政府の政策は県民の願いとはかけはなれたものです。

ふるさとを返せ、生業を返せと裁判が闘われていますが、今度は「海洋放出差し止め」訴訟も闘わなければなりません。ふるさとに帰れと言っても除染はすすまず、山林はほぼ不可能、そしていくつもの分断と闘わなければならない苦しみは続いている。「福島」を繰り返さないために「原発ゼロ」の政治決断を求め、被災者・被災者一人一人に寄りそった支援を継続していくことが必要だと訴えられました。

(広瀬千鶴通信員 上池袋本町分会)

労働学校は 学びの指針

労働組合=労働環境に不満を持つ人たちの賃上げ要求のイメージしか持っておらず、子育てを優先させて貰える等、恵まれている労働環境にいる自分自身には関係無いと考えていました。

組合の委員会に参加するようになり、他の方々が私たちをとりまく世の中の動き等の多岐に渡り知っている、学んでいる事に驚き、無知の知である自分自身に焦りを感じました。

そんな中、労働学校の日本国憲法と労働組合が果たしている役割、コロナ禍やウクライナ戦争を含めた現在の情勢を学ぶ機会を得ることが出来ました。

労働学校では労働組合の組合運動のみを学ぶのではなく、哲学、経済学、労働運動をはじめ人民運動についての基礎的理論や内外の政治、経済情勢の特徴等を学ぶことが出来ます。

インターネットで検索すれば何でも答えが出てくる時代。でも、1人で画面に向かっていて身に付くのだろうか？

学ぶ目的を同じくした仲間と話し合い、励まし合い、交流していく中で身に



付けていくものではないだろうか？

学んだ知識を自分のものにしていき、自分自身の生き方を構築し、人間らしく生き、幸せを求めて生き、人生を大切にしていけるように、学ぶ事を始め、続けていきたいと思います。その指針に労働学校がなってくれると思っています。

(竹鼻三枝通信員 事業所分会)

上池袋本町分会 秋の住宅デー

日時 11月19日(日)
10:00~14:00

強雨中止

会場 池本だんだん公園
豊島区池袋本町2丁目37

だしもの

- 包丁とぎ(13:00で受付締切)
- 木工教室 ●木挽
- 丸太切 ●味噌おでん
- 太鼓 ●平和写真展
- バザー